

2019 年度事業報告

2019 年度 事業報告書

I 総括

2016 年度文部科学省に設置された「大学スポーツの振興に関する検討会議」を発端に、2017 年度「日本版 NCAA 設立に向けた学産官連携協議会」、2018 年度「大学横断的かつ競技横断的統括組織設立準備委員会」と3年間に渡る検討過程を経て、2019 年3月1日に「一般社団法人大学スポーツ協会」として本協会は設立しました。

「大学スポーツの振興により、「卓越性を有する人材」を育成し、大学ブランドの強化及び競技力の向上を図る。もって、我が国の地域・経済・社会の更なる発展に貢献する。」を設立理念に掲げ、会員は当初目標を上回る222大学・34競技団体が加盟、設立準備委員会から引き継いだ「学業充実・安全安心・事業マーケティング」の重点3分野における事業推進を中心に大学スポーツの振興活動を進め、大学スポーツ界における本協会の立場・役割を築き上げてきました。

また、民間の大手企業4社からもパートナーとして支援をいただくことができ、社会的にも本協会の存在価値を評価・認識していただき始めています。

II 実施事業

1. 学業充実・デュアルキャリア事業

➤「設立準備委員会」作業部会にて提案された事業を引き継いで、初年度から具現化を推進した。

推進に当たっては、「デュアルキャリア委員会」を設置、部会の設置と詳細案の検討、実践推進を行った。

(1) 管理者・指導者研修会の開催

➤大学における運動部を管理する職員、運動部の指導者を対象に、全国6会場で研修会を開催、137大学述べ318名が参加。UNIVAS 活動に対する理解促進に努め、大学内における研修会開催の依頼を行った。本事業はスポーツ振興くじ助成金を受けて実施した。

	月日	会場	管理者の部		指導者の部		合計
			大学数	人数	大学数	人数	人数
東京	9/3(火)	法政大学	54	59	56	69	128
愛知	9/4(水)	日本福祉大学	22	24	19	22	46
岡山	9/5(木)	環太平洋大学	7	7	7	8	15
大阪	9/6(金)	追手門学院大学	32	41	26	34	75
福岡	9/9(月)	福岡大学	17	22	16	22	44
札幌	9/14(土)	札幌国際大学	5	6	4	4	10
合計			137	159	128	159	318

(2) 入学前教育プログラムの提供

➤大学入学後の学業充実の準備に向けて、スポーツ推薦入学予定者等を対象とした入学前の教育プログラムである「学習支援」プログラムをアカデミックパートナー企業である株式会社 KEI アドバンスと協業の上開発し、導入モデル大学を募集して希望大学を対象に提供を行った。

また、同様に入学前に提供する「入学準備」プログラムの開発をトップパートナー企業である株式会社マイナビと協業で進めている。

教科・科目	内容
英語 [英文法・英文解釈]	河合塾講師監修の解説動画や問題を多数提供。「AI おすすめ学習」「自由選択学習」の 2 パターン。スマホ等マルチデバイスにて学習が可能。
数学 [数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ]	

・7モデル大学 423 人にプログラムを提供。

(3) キャリア形成支援プログラムの提供

➤在学生のキャリア形成をサポートするプログラムをトップパートナー企業である株式会社マイナビと開発を推進中。手始めに、新キャプテンを対象に、競技だけでなく社会で求められるリーダーシップの形成に向けた「リーダーズキャンプ」を実施することとし、第 1 グループでは北海道から九州までの 23 大学 19 競技 41 名の新キャプテンが参加した。一方第 2 グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を延期することとした。本事業は、民間スポーツ振興費等補助金の支給対象事業である。

	月日	参加者	ゲスト
第 1 グループ	2/16(日)-17(月)	41 名	廣瀬俊朗(元ラグビー日本代表)
第 2 グループ	2/27(木)-28(金)	※2/25(火)付にて、開催を延期した。	

(4) 学業基準導入の検証

➤学業と部活動の両立に向けて、運動部学生の成績到達度に関する基準を策定する課題に取り組み中。具体的には、年次別に取得すべき単位数を設定、未達成のレンジに応じて勧告、出場停止と対策が講じられるようにするものを原案として策定。原案を導入した際の整合性をモデル大学にて実地検証、及び原案に対する各大学の意見をアンケートで収集し、検証をすすめる。本事業は、民間スポーツ振興費等補助金の支給対象事業である。

実地検証	・大学の規模、類型、立地のバランスを見て 11 大学を選定して実施。
アンケート 及び聞き込み 調査	・会員 222 大学に対してアンケートを送付、112 大学から回答を受理。 ・先進的な取り組みを行っている 3 大学に対して、聞き込み調査を実施。

2. 安全安心事業

➤「設立準備委員会」作業部会にて提案された事業を引き継いで、初年度から具現化を推進した。

推進に当たっては、「安全安心委員会」を設置、部会の設置と詳細案の検討、実践推進を行った。

(1) UNIVAS 相談窓口の設置

➤大学の運動部におけるハラスメント問題等に関して、学生のみならず関わる指導者や父兄からの相談を直接承る「UNIVAS 相談窓口」を 10 月 7 日(月)付で UNIVAS オフィシャルサイトに開設した。相談の受理、内容確認、対応に関しては法律事務所に業務を委託、また対応策の適格性を判断する機関として「コンプライアンス委員会」を設置した。本事業は、民間スポーツ振興費等補助金の支給対象事業である。

	重大な相談案件	軽微な相談案件	合計	コンプライアンス 委員会取扱件数
相談件数	4	6	10	0

(2) 安全安心対策の助成

➤運動部活動の安全性を向上させる為に、まずは「医療従事者等配置事業」を推進した。本事業は、大会や練習等試合の現場に医療従事者等を立ち合わせることによって、事故発生の際に瞬時的確な対処ができるようにするものである。会員の申請に基づき、その費用を UNIVAS が負担して配置する事業としてスポーツ振興くじ助成金を受けて実施した。

	1 2 月	1 月	2 月	合計
申請受理件数	4 件	0 件	2 件	6 件
金額	169,375 円	0 円	225,375 円	394,750 円

(3) 安全安心ガイドラインの策定

➤「大学スポーツにおける安全安心の確保」のために全ての競技に共通する安全安心に関わる遵守すべき事項を明記したガイドラインを策定し、安全に関する意識の啓蒙に向けて配布・徹底を行った。本事業は、民間スポーツ振興費等補助金の支給対象事業である。

安全安心ガイドライン冊子	A4 サイズ×51P	16,000 部
--------------	------------	----------

(4) 事故・怪我事例の研究

➤現在、大学生が加入している保険の 2 つの柱である①「スポーツ安全保険」及び②「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」の保険データを用いて大学スポーツにおける事故・怪我の実態を把握し、情報提供を行う計画。上記 2 保険では収集しきれない、大学スポーツにおける事故・怪我の情報収集方法を検討する。

なお、将来的には、上記 2 保険ではカバーしきれない部分が補償可能となる新保険制度創設の可能性を検討する。

3. 事業企画関連事業

(1) 競技横断型大学対抗戦の開催

➤大学スポーツとしてのブランディングと露出強化によるファンの開拓を目的として、「UNIVAS CUP 2019-20」と銘打ち、競技横断型大学対抗戦を開催した。

[競技内容]

- ・ UNIVAS 会員の 31 競技団体が開催する大会のうち、全国の大学が参加し大学日本一を決する目的の大会につき、原則として 1 競技 1 大会を UNIVAS CUP 指定大会として設定。
- ・ 該当指定大会の順位に応じて各大学は UNIVAS ポイントを獲得、指定 31 大会でのポイント獲得総数によって大学総合順位を決定。
- ・ ポイント獲得数の総合ランキング、男女競技別ポイント獲得数・男女競技別優勝回数・地区別ポイント獲得数などの部門賞の上位大学は 3 月開催の UNIVAS AWARDS 2019-20 にて表彰を行う。

[開催結果]

・当初予定されていた指定大会のうち、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、全日本学生グライダー競技大会及び日本学生オリエンテーリング選手権大会ミドル・ディスタンス、リレー競技部門は開催中止となり、この2大会以外の指定大会の結果総計にて順位を競うこととなった。会員大学は 222 大学中 141 大学が指定大会に参加、うち 133 大学がポイントを獲得した。

[UNIVAS CUP 2019-20 指定大会一覧]

	大会名	開催期間	開催場所	参加大学数	総ポイント数
1	全日本大学野球選手権大会	6/10-16	明治神宮野球場、東京ドーム(東京都)	男子：27校	30,000
2	全日本学生アーチェリー王座決定戦	6/15-16	つま恋リゾート彩の郷(静岡県)	男子 18校 女子 18校	4,000
3	日本 U23 トライアスロン選手権	7/7	七ヶ浜町(宮城県)	男子：17校・ 女子：5校	1,000
4	全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会(男子)	8/6-7	盛岡市太田テニスコート(岩手県)他	男子：85校	3,500
4	全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会(女子)	8/6-7	北上市和賀川グリーンパークテニスコート(岩手県)	女子：64校	3,500
5	全日本学生テニス選手権大会	8/7-18	岐阜メモリアルセンター(岐阜県)	男子：34校 女子：44校	9,000
6	全日本学生なぎなた選手権大会	8/11	入間市市民体育館(埼玉県)	男子：29校 女子：68校	1,000
7	全日本学生カヌースプリント選手権大会	8/20-25	木場潟カヌー競技場(石川県)	男子：16校 女子：17校	1,000
8	文部科学大臣杯全日本学生レスリング選手権大会	8/20-23	駒沢オリンピック公園総合運動場体育館(東京都)	男子：40校 女子：19校	1,000
9	全日本大学ソフトボール選手権大会(女子)	8/29-9/1	安城市総合運動公園ソフトボール場(愛知県)	女子：32校	2,500
9	全日本大学ソフトボール選手権大会(男子)	9/5-8	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場(富山県)	男子：32校	2,500
10	全日本大学選手権大会	9/5-8	戸田市戸田ポートコース(埼玉県)	64校	3,000
11	日本学生選手権水泳競技大会(競泳)	9/6-14	東京辰巳国際水泳場(東京都)	男女：124校	8,000

12	全日本大学アルティメット選手権大会	本選 9/21-22 決勝戦 9/28	本戦：Jヴィレッジ・ 決勝戦：駒沢オリンピック公園総合運動場	男子：24校 女子：16校	4,000
13	全日本学生柔道体重別選手権大会	9/28-29	県立武道館(秋田県)	男子：65校 女子：40校	6,000
14	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	10/10-19	長瀬射撃場(埼玉県)	男子：24校 女子：16校	2,000
15	全日本学生サーフィン選手権秋季大会	10/19-20	鴨川市東条海岸 (千葉県)	男子：20校 女子：5校	1,000
16	全日本学生ホッケー選手権大会	10/23-27	大井ホッケー競技場 (東京都)	男子：24校 女子：16校	50,000
17	信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦	10/31-11/1	千葉カントリークラブ梅郷コース(千葉県)	男子：16校 女子：12校	3,000
18	全日本学生馬術大会	11/2-7	三木ホースランドパーク(兵庫県)	男子：79校 女子：79校	1,000
19	少林寺拳法全日本学生大会	11/4	ポートアリーナ (千葉県)	141校	3,000
20	全日本学生ハンドボール選手権大会	11/8-12	セキスイハイムスーパーアリーナ/カメイアリーナ仙台/元気フィールド仙台(宮城県)	男子：32校 女子：32校	8,000
21	日本学生オリエンテーリング選手権(L&S)	11/9-10	中津川市内(岐阜県)	男子：41校 女子：53校	764
22	全日本大学空手道選手権大会	11/10	スカイホール豊田 (愛知県)	男子：64校 女子：58校	3,000
23	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会	11/15-17	スポーツ総合センター(埼玉県)	男子：10校 女子：6校	1,000
24	全日本バレーボール大学男女選手権	11/25-12/1	大田区総合体育館、 墨田区総合体育館 (東京都)	男子：64校 女子：64校	16,000
25	全国大学ラグビーフットボール選手権大会	11/24-1/11	花園ラグビー場他・ 国立競技場(大阪府他)	男子：14校	12,000
26	全日本大学バスケットボール選手権大会	12/9-16	駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館他(東京都)	男子：32校 女子：32校	15,000

27	全日本大学アメリカンフットボール選手権大会	11/3-12/15	横浜スタジアム他・阪神甲子園球場(神奈川県他)	男子：10校	11,000
28	全日本学生スポーツチャンバラ選手権大会	11/22	小田原アリーナ(神奈川県)	男子：41校 女子：32校	2,000
29	全日本大学ボクシング王座決定戦	12/26	墨田区総合体育館(東京都)	男子：2校	1,000
30	全日本学生スキー選手権大会	2/24-27	鹿角市花輪スキー場(秋田県)	男子：81校 女子：65校	2,000
31	全日本学生グライダー競技大会	3/10-15	妻沼滑空場(埼玉県)	男女混合：15校	開催中止 000
21	日本学生オリエンテーリング選手権(M&R)	3/14-15	矢板市・塩谷郡塩谷町(栃木県)	男子：15校 女子：15校	開催中止 136

(2) 試合動画の配信

▶大学スポーツの注目度を向上させ、ファン開拓の促進を目的として、UNIVAS CUP 2019-20の指定大会を中心に試合の動画を、UNIVAS オフィシャルサイトで無料配信した。同時に、パートナーの広告掲載によりパートナー企業にも露出価値を提供した。

[配信結果] (2020年2月29日現在の数値)

- ・設立準備委員会においては年間600試合を目標に掲げていたが、大きく上回る結果となった。
- ・配信試合数：LIVE配信 320試合・ハイライト配信 823試合
- ・動画再生回数：208,325回

[競技大会別配信実績]

	大会名	開催期間	配信試合数		視聴回数	
			ライブ	ハイライト	ライブ	ハイライト
1	全日本大学野球選手権大会	6/10-17	-	26	-	22,169
2	全日本学生アーチェリー王座決定戦	6/15-16	4	16	1,288	9,953
3	日本 U23 トライアスロン選手権	7/7	-	2	-	2,529
4	全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会(男子)	8/6-7	3	7	20,578	11,604
4	全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会(女子)	8/6-7	3	7		
5	全日本学生テニス選手権大会	8/7-18	8	28	22,364	4,950
6	全日本学生なぎなた選手権大会	8/11	39	52	2,094	2,095

7	全日本学生カヌースプリント選手権大会	8/20-25	-	22	-	1,675
8	文部科学大臣杯全日本学生レスリング選手権大会	8/20-23	120	197	1,484	5,049
9	全日本大学ソフトボール選手権大会(女子)	8/29-9/1	5	7	15,688	8,042
9	全日本大学ソフトボール選手権大会(男子)	9/5-8	2	7		
10	全日本大学選手権大会	9/5-8	-	12	-	724
11	日本学生選手権水泳競技大会(競泳)	9/6-14	水球 4	競泳 32 水球 11	1,500	4,027
12	全日本大学アルティメット選手権大会	本戦 9/21-22 決勝戦 9/28	2	14	820	2,022
13	全日本学生柔道体重別選手権大会	9/28-29	-	42	-	3,219
14	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	10/10-13	-	6	-	1,076
15	全日本学生サーフィン選手権秋季大会	10/19-20	-	24	-	898
16	全日本学生ホッケー選手権大会	10/23-27	10	28	7,295	1,409
17	信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦	10/31-11/1	-	2	-	1,342
18	全日本学生馬術大会	11/2-7	-	3	-	503
19	少林寺拳法全日本学生大会	11/4	-	17	-	2,032
20	全日本学生ハンドボール選手権大会	11/8-12	9	22	3,451	360
21	日本学生オリエンテーリング選手権(L&S)	11/9-10	-	4	-	1,835
22	全日本大学空手道選手権大会	11/10	22	50	3,023	910
23	全日本大学対抗ウェイトリフティング選手権大会	11/15-17	5	13	1,829	2,491
24	全日本バレーボール大学男女選手権	11/25-12/1	14	64	21,381	8,369
25	全国大学ラグビーフットボール選手権大会	11/24-1/11	-	-	-	-

26	全日本大学バスケットボール選手権大会	12/9-16	-	32	-	37
27	全日本大学アメリカンフットボール選手権大会	11/3-12/15	-	5	-	405
28	全日本学生スポーツチャンバラ選手権大会	11/22	70	70	913	1,673
29	全日本大学ボクシング王座決定戦	12/26	-	-	-	-
30	全日本学生スキー選手権大会	2/24-27	-	8	-	3月公開
31	全日本学生グライダー競技大会	3/10-15	開催中止			
21	日本学生オリエンテーリング選手権(M&R)	3/14-15	開催中止			

(3) 競技日程カレンダーの策定

▶本年度は UNIVAS CUP 2019-20 の指定大会を一覧化することに着手し、オフィシャルサイト等で公表を行った。来年度はシステム連携を図り、公表試合数を拡大していく。

(4) 年間表彰の実施

▶UNIVAS の理念の浸透と実現に向けて、大学スポーツにおける学生アスリート・大学・競技団体等各関係者のあるべき姿・目指すべき姿を広く周知するために、理念に叶った活動を行った個人と組織団体の表彰を行う。また、会員（大学・競技団体）のブランディング（認知度向上、イメージ向上）に寄与していく。

本年度は11月7日(木)に概要発表と会員からのエントリー受付を開始し、1月31日(金)に締め切り、2月14日(金)・2月19日(水)に審査委員会を開催して優秀賞及び最優秀賞の個人及び団体を選定し、2月28日(金)に優秀賞受賞者及び団体を発表した。3月27日(金)予定の表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰式の実施形態を変更し、インターネット配信による表彰番組として配信するに至った。

[UNIVAS AWARDS 2019-20 表彰コース]

#	表彰名	表彰内容	対象者	推薦者	受賞人数		
					最優秀賞	優秀賞	入賞
1	パーソン・オブ・ザ・イヤー	文武両道を実践し、他の模範となる運動部学生を表彰する	運動部学生(個人)	大学	1	7	10
2	ウーマン・オブ・ザ・イヤー	文武両道を実践し、他の模範となる運動部女子学生を表彰する	運動部女子学生(個人)	大学	1	6	10

3	パラアスリート・オブ・ザ・イヤー	パラスポーツにおいて活躍した学生を表彰する	パラスポーツ学生(個人)	大学 競技団体	1	5	6
4	サポーター・オブ・ザ・イヤー	学生アスリートや運動部を支える活躍をした学生を表彰する	競技者以外で運動部に関わる学生(個人)	大学 競技団体	1	6	6
5	スポーツパーソンシップ・オブ・ザ・イヤー	スポーツパーソンシップ溢れるプレーや振る舞いを行った学生を表彰	運動部学生(個人)	大学 競技団体	1	1	5
6	アルムナイ・オブ・ザ・イヤー	卒業後、社会に貢献したOB・OGを表彰する	OB・OG(個人)	大学	該当者無し		2
7	コーチ・オブ・ザ・イヤー	人材育成や競技力向上に尽力した指導者を表彰する	指導者(個人)	大学 競技団体	1	5	3
8	学修機会確保に関する優秀取組賞	運動部学生に対する学修機会の確保に関する先進的取り組みを表彰	大学(投下部局・運動部)・競技団体	大学 競技団体	1	5	1
9	成績管理・対策に関する優秀取組賞	運動部学生に対する成績管理・対策に関する先進的取り組みを表彰	大学(統括部局・運動部)	大学	1	4	0
10	安全確保に関する優秀取組賞	運動部活動における安全対策に関する先進的取り組み事例を表彰	大学(投下部局・運動部)・競技団体	大学 競技団体	1	6	0
11	大会・プロモーションに関する優秀取組賞	大会・競技の普及や活性化、集客・応援促進のための大会プロモーションに関する有料取り組み事例を表彰する	大学(投下部局・運動部)・競技団体	大学 競技団体	1	5	5
12	スポーツ統括部局/SA 賞	大学スポーツ振興に関する先進的取り組み事例を表彰する	大学(統括部局・SA)	大学	1	6	5
13	UNIVASCUP 上位大学	総合ランキングポイント獲得数上位	上位大学	UNIVASCUP の	3		7

	部門賞：男女競技別ポイント獲得数上位	成績による	2	4
	部門賞：男女競技別優勝回数上位		2	4
	部門賞：地区別ポイント獲得数上位		8	16

4. データベース開発事業

(1) データベース活用サービスの開発

- 学生アスリート本人及び所属する組織団体が一元的に情報連携できるプラットフォームの構築に向けて、トップパートナーである KDDI 株式会社との協業によりシステム開発に着手を行い、今春以降の順次リリースアウトを目指す。

[システム開発のビジョン]

	実現するサービス内容
基本サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ My UNIVAS : 学生アスリートに MY FAVORITE PAGE を提供、動画視聴等特典サービスを楽しむサービス。 ・ Our UNIVAS : 大学・競技団体の管理者にメンバー管理や、メンバーへの情報伝達を可能とするサービス。
拡張サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生アスリートの活動をささえるサービスや、キャンパスライフをサポートするサービスを順次付加していく。 ：体調やコンディショニングの管理サービス・デュアルキャリア形成支援サービス・技術指導に繋がる動作解析サービス 他

5. 総合的な推進事業

(1) スポーツ統括業務手引書の策定

- 運動部活動に対する大学としてのガバナンス発揮に向けて、大学が行うべき統括業務の概要及び先行大学の事例を記述した手引書を策定、管理者指導者研修会での説明を経て、会員大学に配布を行った。

大学スポーツ振興に向けた大学スポーツ統括業務の手引書	A4 サイズ×110P	646 部
----------------------------	-------------	-------

(2) 学生からの意見収集

- 学生アスリートと直接対話を行い、その意見や意識を UNIVAS の活動に反映させていくこと、及びその行為自体によって UNIVAS の活動イメージを向上させることを目的に、以下の対話事業を行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から 2 月 25 日(火)付で開催を延期することとした。本事業は、民間スポーツ振興費等補助金の支給対象事業であった。

事業	日時	会場	内容
ありもり会議	2/26(水)	豊洲 Sports	・ UNIVAS 副会長有森裕子氏とゲスト(鯉川なつえ氏・室伏由佳氏)をファシリテーターに、女子学生アスリートな

		Complex	らではの悩みや意見を収集する対話会議。 ※2/25(火)付にて、開催を延期した。
--	--	---------	---------------------------------------------

6. 広報推進事業

(1) 設立記念シンポジウム・懇親会の開催

➤設立後初の社員総会の開催に引き続き、スポーツ庁主催の設立記念シンポジウムの開催、その後の懇親会にて UNIVAS ロゴの発表を行い、マスコミへの情報発信を行った。

事業	日時会場	参加者	内容
UNIVAS 設立 記念 シンポジウム 懇親会	3/18(水) 新高輪 PH 国際 館パミー ル	シンポジウム 237 名(大学 146・競技団体 39 他 52) 懇親会 155 名 (大学 98・競技 団体 27 他 30)	・シンポジウムには佐藤満 氏(専修大学教授:レス リング ソウル五輪金メダリスト)、岩政大樹 氏(サ ッカー解説者:2010 FIFA ワールドカップ日本代表) 田中雅美 氏(スポーツコメンテーター:水泳 シドニ ー五輪銅メダリスト) が登壇。 ・懇親会では UNIVAS ロゴマークの発表を行った。

(2) パートナー企業発表会の開催

➤パートナー企業 4 社との契約締結にあたりメディア露出を獲得すべく、各企業代表者と共にマスコミ発表会を開催した。

事業	日時会場	参加者	内容
パートナー企 業発表会	8/21(水) 虎ノ門 ホール	報道関係者 72 名	マスコミ各社を招いて発表会を行い、多大な露出を 獲得した。 ・テレビメディア : 4 媒体・新聞雑誌 : 33 媒体・ WEB : 175 媒体・合計 : 212 媒体

7. 会員とのコミュニケーション事業

(1) 学長懇談会の開催

➤大学経営層の UNIVAS 活動への理解促進と今後の取り組み課題の鮮明化に向けて、大学学長との懇談会を開催、会員大学のみならず未加盟大学の学長にも参加をいただき、貴重なご意見を賜った。

事業	日時会場	参加者	内容
第 1 回 学長懇談会	7/23(火) 11:00-13:00 アルカディア	72 名	・学長 31、副学長 14、理事長 2、その他 25 名。 ・未加盟 4 大学(筑・明・関学・東大)参加
第 2 回 学長懇談会	11/7(木) 14:30-17:00 TKP 市ヶ谷	69 名	・学長 18、副学長 15、理事長 2、その他 34 名。 ・未加盟 3 大学(筑・明・東大)参加 ・終了後懇親会を開催した

(2) 情報共有会の開催

➤各大学における UNIVAS 窓口を担っている方々を対象に、Zoom システムを使用した Web 会議を開催。UNIVAS から各大学に提供しているプログラムの内容説明や、エントリー募集要項の説明等を行い、システムの性能・環境も十分であり、UNIVAS 活動に対する理解を深めていただいた。今後、定期的に本形式の会議を開催することとした。

事業	日時会場	参加者	内容
第一回 情報共有会	12/3(火) 10:00-11:00	21 名	(1)UNIVAS AWARDS 2019-20 エントリー募集について (2)医療従事者等配置事業申請受付について
	12/4(水) 13:00-14:00	12 名	(3)入学前教育プログラム（学習支援）の提供及びモデル大学の募集について
	12/5(木) 15:00-17:00	17 名	(4)リーダーズキャンプ参加者募集について (5)学生スポーツありもり会議参加者募集について

(3) 競技団体連絡会の開催

➤UNIVAS の発足と活動に対しての理解を深める為に、競技団体の役職者、事務局員等の代表者を対象とした説明会を開催。UNIVAS CUP 等の実施施策に対しての協力を要請した。

事業	日時会場	参加者	内容
競技団体 説明会	3/6(水) 16:00-17:00	10 団体	・ UNIVAS 設立に関する主旨、活動計画などを説明し、理解浸透を図った。
	3/6(水) 18:00-19:00	10 団体	・ UNIVAS CUP、動画配信に関して計画内容の説明と事務的な依頼事項を伝達。
競技団体 意見交換会	2/4(火) 18:00-19:30	10 団体	・ UNIVAS 初年度の活動や実施事業に関する結果の報告を行った。
	2/5(水) 18:00-19:30	11 団体	・ 来年度 UNIVAS CUP の方針、団体運営支援ツールの説明と依頼事項を伝達した。

Ⅲ組織運営及び財政基盤の確立

(1) 組織の設立と運営体制の確立

- ・「一般社団法人大学スポーツ協会」としての法人登記は 3 月 1 日(金)に完了し、会長 1 名、副会長 2 名、専務理事及び常務理事各 1 名の設立時理事 5 名、監事 2 名で組織活動を開始、その後 3 月 18 日(月)開催の臨時社員総会の決議にて理事 8 名、5 月 21 日(火)臨時社員総会の決議で理事 4 名に就任いただき 17 名の理事体制で組織運営を行った。現在は、学長任期満了に伴い山口理事が辞任した為 16 名体制となっている。
 - ・また、事業推進を的確且つ円滑に行う為に「デュアルキャリア委員会」「安全安心委員会」「事業企画委員会」「データベース開発委員会」「総合推進委員会」の 5 委員会を 5 月 10 日(金)付で設置し、各理事が各々の委員会の委員長、副委員長に就任、大学教員や競技団体から委員を招聘、取り組む課題によっては下部組織である部会を設置して、設立準備委員会から引き継いだ「UNIVAS が初年度から取り組む事業」の具現化を推進した。
- 同時に事務局も組織運営と委員会運営業務に沿って 9 部門制とした。事務局は、専従職員 4 名の

雇用に加え、6名の業務委託者、学生アルバイトにより執務を行っている。

- ・会員は、3月1日(金)設立時は196大学・31競技団体(3連携会員を含む)、4月26日(金)締め切りにより創立メンバー216大学・34競技団体(3連携会員を含む)と増加し、直近では222大学・34競技団体(3連携会員を含む)となっている。

(2) 財政基盤の確立

- ・本協会設立準備時の「民間法人として設立し、民間資金での運営を基本とする。」との構想を受けて、「①会員からの会費収入」、「②国庫及び関連スポーツ団体からの補助金・助成金収入」、「③民間企業とのパートナーシップ締結によるスポンサー収入」を収入基盤の三本柱として活動した。
- ・「①会員からの会費収入」に関しては、本年度は入会金無料期間として設定されていたため、年会費のみが収入の対象となった。「②国庫及び関連スポーツ団体からの補助金・助成金収入」に関しては、スポーツ庁から「民間スポーツ振興費等補助金」、独立行政法人日本スポーツ振興センターから「スポーツ振興くじ助成金」の交付を受け、各々補助・助成の対象となる学業充実事業、安全安心事業の実施費用として活用した。
- ・「③民間企業とのパートナーシップ締結によるスポンサー収入」に関しては、KDDI株式会社、株式会社マイナビとトップパートナー契約、MS&AD インシュアランスグループ ホールディングス株式会社とゴールドパートナー契約、河合塾グループである株式会社 KEI アドバンスとアカデミックパートナー契約を締結し、多大な支援をいただくことで本協会の財政基盤の確立に至った。また、本協会の設立理念に賛同いただいた民間企業1社から寄付金を受領した。
- ・設立初年度である今期においては、運転資金を確保するために短期での銀行借入を行い、既に返済を完了している。

以上